

公益社団法人青森青年会議所
2018年度 Positive Action Development委員会 事業計画書

担当副理事長 大平 亮
委員長 関 貴光

【基本方針】

青森青年会議所は、明るい豊かな社会の実現を目指す活動の中、メンバー同志が切磋琢磨することで自己成長が出来る団体です。本委員会は成長の機会を創出し、積極的に課題に向き合い、臆せず挑戦し続ける活発な組織にする責務があります。周囲を巻き込み感化させ、大きな力を生み出す行動は組織を強化します。メンバー一人ひとりが積極的な行動を身につけ、地域の可能性を切り拓く人財に成長していかなければなりません。

まずは、メンバー一人ひとりが相手に影響を与える人財になるために、誰にでも礼儀正しく振る舞い、相手を尊重し気遣うなど、日々の生活を送る中で地道な積み重ねが必要になります。一つひとつ積み重ねた経験により自信をつけることで、相手の気持ちを理解する余裕が生まれ、気持ちの変化を誘発し、相手の行動を自発的に促すことが出来る人財へ成長します。また、失敗を恐れることなく挑戦する力を養うために、計画・実行・評価・改善を基本サイクルとした行動を促します。ゼロからイチを創造し、新しい領域にチャレンジするには、膨大なエネルギーを必要とします。常識に囚われず、柔軟な発想を取り入れ、どんな困難な状況においても積極果敢に挑戦する力を身につけます。これら二つの資質をより向上させるために、日常生活では経験する機会が少ない人前でのスピーチを実践する場を設けます。堂々とした態度で自分の想いを伝えることは、相手の気持ちに変化を与え、物怖じせず新しい課題に挑戦する基礎を築きます。

青年会議所活動を通じて様々な経験を積み重ね、人間の魅力を磨き、新たな課題に向き合い、積極的に挑戦する行動を興す人財が増えることは、より一層活発な組織へと発展していきます。影響力と挑戦する力を最大限に発揮したメンバーが展開する運動は、地域社会に影響を与え、人と地域とのつながりを形成し、共感で結ばれた青森の未来を創造します。

【事業計画1】

1	事業名	インフルエンサー育成事業（3月）【他1】
2	目的	様々な人や社会に影響を与える力を養うため
3	内容	研修会を通し影響力を与えられるようになる場を設ける

【事業計画2】

1	事業名	チャレンジングスピリット醸成事業（8月）【他1】
2	目的	何事にも積極的に挑戦する力を養うため
3	内容	物事のプロセスを体験することで挑戦する力を得る場を設ける

【事業計画3】

1	事業名	3分間スピーチ
2	目的	チャレンジ精神と影響力を養うため
3	内容	スピーチの内容から人に影響を与えることや大人数の前で話すことでチャレンジ精神を養う実践の場を設ける